

令和6年度日米共同統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で17回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和6年10月23日(水)～11月1日(金)の間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

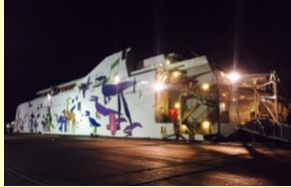
【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和6年度日米共同統合演習(実動演習)について

その他関連する訓練

- 統合後方補給
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙状況監視に係る連携
- 統合電磁波作戦訓練






統合防空ミサイル防衛



空挺作戦



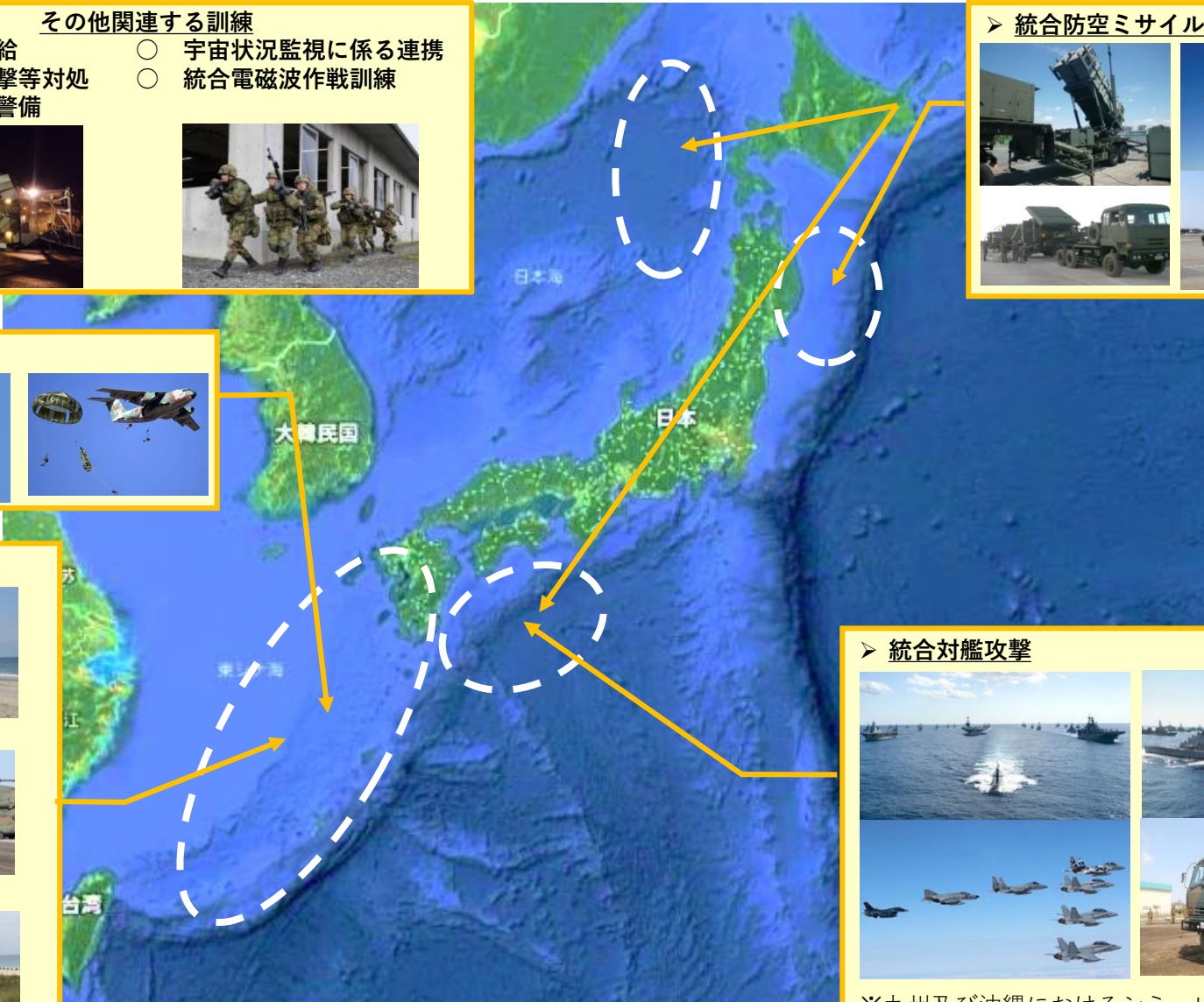

水陸両用作戦

統合対艦攻撃



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。



東京都内で実施を計画している訓練内容

①陸上作戦（共同基地等警備訓練）

陸上自衛隊の部隊が米軍基地及び自衛隊基地に展開し、各部隊による基地等警備訓練を実施します。なお、基地等警備訓練において、実弾は使用しません。

【期 間】令和6年10月23日（水）～10月31日（木） ※夜間訓練、空包使用を含みます。

【参加部隊】陸上自衛隊：東部方面隊（約70名）

航空自衛隊：各基地所在部隊（約40名）

米 軍：横田基地所在部隊（約50名）

訓練予定場所



展開人数等

基地等	展開する部隊等
府中基地	第1後方支援連隊（練馬）約20名 航空気象群：30名
米横田基地	第1施設大隊（朝霞）約50名 作戦システム運用隊 約10名 米軍横田憲兵隊 約50名

訓練イメージ

